

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FD3	科 名	服飾専攻科 オートクチュール専攻	単 位	18単位
科目コード	001800	科目名	服装造形	授業期間	通年

担当教員(代表)：大津 公幸	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

各細目制作を通して個々の体型の把握とその補正法、デザインと素材の関連性、表地、裏地、芯地の扱い、及び多くの縫製仕様を学び、パターン制作技術、縫製テクニックの更なる向上を目指す。天然芯を使用したスーツ、皮革、ヴィオネ演習&ドレープ応用作品、薄物素材、特殊素材の毛皮までを制作する。
また、立体裁断による型出しの手法も演習する。

【授業計画】

・オートクチュール 論	通年	3単位
・オートクチュール デザイン	通年	3単位
・オートクチュールソーイング	通年	6単位
・オートクチュールパターンメイキング	通年	3単位
・オートクチュールドレーピング	通年	3単位

◎実物制作

1 天然芯を使用したスーツ	(56コマ)	デザイン・パターン・実物制作・レポート
2 皮革作品	(48コマ)	デザイン・パターン・実物制作・レポート
3 バザー作品(Tシャツ、刺繍)	(15コマ)	デザイン・パターン・実物制作
4 高級素材の扱い(グループ制作縫製含む)	(26コマ)	部分縫い5種・グループ制作縫製のための部分縫い (薄物素材、レース、スパンゲル、ベルベット、リバーシブル)
5 ヴィオネ演習&ドレープ応用作品、毛皮作品(32コマ)	デザイン・パターン・基本演習(3体)・実物制作	

◎立体裁断

1 三面構成ジャケット	(9コマ)(前期)	トワール制作・パターン 工業用ボディ
2 ラグランスリーブ	(8コマ)(前期)	トワール制作・パターン 工業用ボディ
3 ドレープ各種	(12コマ)(後期)	トワール制作・パターン 文化ヌードボディ
4 トワリスト賞作品制作	選択者のみ制作	(ヴィオネ演習&ドレープ応用作品、毛皮作品との振替可)
5 モードコピー 自由制作	(29コマ)	*モードコピー、自由制作を選択 文化ヌードボディ

◎校外授業 1 美術館、博物館、舞台衣装見学等

【評価方法】S~C・F評価 評価基準

・オートクチュール 論	試験：100%
・オートクチュール デザイン	学業評価：90% 授業姿勢：10%
・オートクチュールソーイング	学業評価：90% 授業姿勢：10%
・オートクチュールパターンメイキング	学業評価：90% 授業姿勢：10%
・オートクチュールドレーピング	試験：60% 学業評価：30% 授業姿勢：10%

主要教材図書：文化ファッション大系服飾造形講座(⑥高級素材 ⑦特殊素材 立体裁断応用編 工業パターンメイキング)
ヴィオネ副読本

参考図書：コレクションブック COLLEZIONI HAUTE COUTURE SPOSA(出版社 logos)
WWD ジャパン(出版社 株式会社INFASパブリケーションズ)
Show details PARIS(出版社 Show details SRL)

その他資料：なし

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：一点ものの服づくりの技術を中心に、デザインから仮縫い・補正・パターン・縫製を学ぶ

担当教員：専任教授 大津 公幸 オートクチュールのアトリエにて縫製、パターン、 Cutterとして勤務後、教員として学院に入職

記載者氏名 大津 公幸

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FD3	科 名	服専攻科オートクチュール専攻	単 位	2単位
科目コード	37000	科目名	クチュール手芸演習	授業期間	(通年)

担当教員(代表)： 三見麻理子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

クチュール手芸の基本テクニックから応用作品（フォーマル）の制作を通して実技を指導する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

基礎刺繍

- ビーズ、スパングル刺繍基本刺し
- 様々な材料を使用するモチーフ制作
- ブレード加工基本刺し
- コード刺繍基本刺し
- 飾りボタン制作

応用作品

- フォーマルウェアに装飾（創作演習）

【評価方法】

部分刺し課題 作品評価 90% 出欠席 10%

主要教材図書	栗山武子 「ビーズ刺繍でドレスアップ」、「栗山武子のエレガンス刺繍」 とともに文化出版局
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

文化服装学院卒業後、「服飾手芸くりやま」に入社。栗山武子先生引退後「服飾手芸さんみ」として独立。クチュール手芸の技法を用いて、ドレス等の装飾を実践的に教える。

記載者氏名 三見麻理子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FD3	科 名	服飾専攻科 オートクチュール専攻	単 位	4 単位
科目コード	002300	科目名	創作演習	授業期間	通年

担当教員(代表) : 大津 公幸	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

オートクチュールのテクニックによるフォーマルウェア制作をさせる。
 オートクチュールデザイナー鈴木紀男氏の特別講義、実習と並行して高級素材、特殊素材を扱う本格的フォーマルウェアを制作する事を目標とする。
 また、グループでの協調性を養うためにトワル仮縫いや実物仮縫い、装飾などをグループ点検で進め、オートクチュール手芸とも連携し、手芸的テクニックも加えた作品制作をおこない、コーディネート発表会を企画、実施させる。

【授業計画】

・フォーマルウェア グループ制作 (54コマ)

オートクチュールデザイナーの特別講義、実習授業と連携、平行し、実践的にオートクチュール的なフォーマルウェアをグループ単位で制作する。

服装造形の授業で得られるすべての知識、技術を駆使し、素材との適性、トワル仮縫い、実物仮縫い、中仮縫い、アクセサリー合わせ、実物完成までの実習を行う。

また、同時にオートクチュール手芸演習とも連携し、フォーマルウェアに相応しい手芸的テクニックを取り入れる。

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準 作品評価 : 40% 出欠状況 : 40% 授業姿勢(グループ活動協力姿勢) : 20%

主要教材図書 ; 文化ファッション大系服飾造形講座 ⑥高級素材 ⑦特殊素材

参考図書 : クチュリエ 鈴木紀男の仕事(出版社 文化出版局)
 コレクションブック COLLEZIONI HAUTE COUTURE SPOSA(出版社 logos)
 WWD ジャパン(出版社 株式会社INFAS パブリケーションズ)
 Show details PARIS(出版社 Show details SRL)

その他資料 : なし

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴 : グループによるフォーマルウェア制作

担当教員 : オートクチュールデザイナー 鈴木 紀男氏
 オートクチュール手芸 三見 麻里子氏

専任教授 大津 公幸 オートクチュールのアトリエにて縫製、パタンナー、 Cutterとして勤務後、教員として学院に入職

記載者氏名 大津 公幸

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FD3	科 名	服飾専攻科 オートケール専攻	単 位	1～2単位
科目コード		科目名	制作実習 g、h（自由選択）	授業期間	通 年

担当教員(代表)：大津 公幸	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

レギュラー授業での課題以外に自由な作品制作を行う事で学生の自主性と創造性を伸ばす事を旨とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

制作物は専攻科のレベルに相当するもの以上とし、担任の点検を受けた制作物に限り単位を付与する。

制作物1体が1単位を基準とするが、作品の難易度も考慮し単位数を決める

単位付与の条件・レベルを統一するため、専攻科教員による採点会を実施する

【評価方法】

制作物の体数・難易度を考慮するため採点会を行う（P評価）

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

制作条件がなく自由にデザイン発想した作品を製作する事により、課題以外の経験・知識が得られる効果が期待できる

コンテストの作品が課題と振替えてなく、単位を付与する事によりモチベーションの向上に繋がる

記載者氏名 大津 公幸

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 科目コード	科 名 オートクチュール専攻 科目名 クチュールデザイン画	単 位 授業期 間	単位 2 通年
---------------	----------------------------------	------------------------	-------------------

担当教員(代表)：

水野雅己

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

クチュール画に求められる技術・知識の要素をカリキュラムに配分し課題ごとに構成。
学生が自らのアイディアを具体的に表現できる実力を育成する。

【授業計画】

前期1～5
(13コマ)

1. オリエンテーション
年間授業内容の説明、学習意欲を持たせる ----- 1コマ
2. ランジェリー・ピーチウェア ----- 2コマ
薄物、透ける素材表現
3. ドレスのデザイン ----- 3コマ
縫製技法からのデザイン展開
4. 柄表現 ----- 3コマ
ストライプ・チェックなどの規則制のある柄を衣服で表現
5. 素材表現(ベルベット、ファー、革) ----- 3コマ
光沢のある高級素材を感じさせる彩色技術の習得
6. クリエーションブック(夏期課題含む) ----- 5コマ
興味のある分野を独自の世界観にデザイン展開しポートフォリオにまとめる能力を磨く

後期7～10
(15コマ)

7. シンメトリー・アシンメトリー ----- 3コマ
デザイン論を基に形の左右対称、非対称を理解しファッションデザインに展開する。
8. クリエーションブックII ----- 5コマ
課題6、7の知識を活かしたデザイン展開で作成
9. 修了作品/校内ファッション画展 ----- 6コマ
指定された制作条件の基に、これまで習得した感性の成果をファッション画でまとめる。
10. まとめ
学年末試験に向けた描き方 ----- 1コマ

【評価方法】

提出課題作品、学年末試験、出席状況、授業態度

授業の特徴と担当教員紹介

卒業学年の授業として学生の就職活動をサポートできる課題を設定。学生の能力を引き出すために、学生に寄り添う指導を目指すとして理解しやすいデモンストレーションと提出物の丁寧な添削を行う。

主要教材図書

参考図書

その他資料 Fashion Drawing Basic

記載者氏名

水野雅己

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FD3	科 名	服飾専攻科 オートクチュール専攻	単 位	2単位
科目コード		科目名	シャポー	授業期間	通年

担当教員(代表)：窪田 恵美子	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定）

- ・帽子の一般知識の習得
- ・夏物帽体、布帛作品、冬物帽体、ブレード、ヘッドドレスの5作品を制作
- ・専門素材・専門用具を用いての製作実習を通して、素材に適したデザイン・技法、帽子の基礎知識を習得
- ・スタイリングの際の帽子の効果、被り方を学ぶ

I 講義 帽子の基礎知識 [2コマ]

- ・帽子の形の用語、種類、素材、木型、用具など専門知識の説明
- ・スタイリングの際の帽子の効果、被り方等の説明

II 実物製作 5作品

(1) 夏物帽体作品の製作 講義・演習 [6コマ]

- ・夏物帽体による実物製作
- ・木型など専門用具の使用法、型入れによる形づくりを指導
- ・トリミング（装飾）及び仕上げについて指導

(2) 布帛作品の製作 講義・演習 [6コマ]

- ・基礎作図からのパターンの応用、製作方法
- ・仮縫い方法、芯地の選び方、縫製技術についてデザイン別に説明
- ・素材別の製作方法

(3) 冬物帽体（フェルト帽体）の製作 講義・演習 [6コマ]

- ・帽子用のフェルト帽体（ファーフェルト）による実物製作
- ・木型など専門用具の使用法、型入れによる形づくりを指導
- ・スチームボイラーを用いて、蒸気によるデザイン別成形方法を指導
- ・トリミング（装飾）及び仕上げについて指導

(4) ブレードの扱い方・基本技法の習得演習 講義・演習 [2コマ]

- ・2種類のブレード（麻・ホースヘア）の扱いについて
- ・2種類のブレードを用いたヘッドドレス作品制作

(5) ヘッドドレス 講義・演習 [6コマ]

- ・卒業制作作品とのスタイリングを考慮したデザインで制作する
- ・帽子特殊材料の芯地での土台芯の製作、扱い方
- ・土台芯にかける布の扱い方
- ・トリミング製作、仕上げ方
- ・帽子を頭につけるためのパーツについて

各帽子の取り扱い、手入れ方法、保管方法等の説明

帽子のスタイリング考察課題

評価方法・対象・比重

S～C・F評価、 評価基準：作品80%、授業姿勢20%

主要教材図書

文化ファッション体系 ファッション工芸講座1 帽子 基礎編

参考図書 The HAT magazine など

その他資料 コスチューム資料室標本

記載者氏名 窪田 恵美子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11843	科 名 服飾専攻科 オートクチュール専攻	単 位	1
科目コード 301100	科目名 アクセサリーⅡ（自由選択）	授業期間	前期

担当教員（代表）：中川 清美	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>アクセサリーは服を引き立たせるための小道具である。新しい素材を取り込み服とのコーディネートを意識したオリジナルの高いアートアクセサリー制作、そして服作りのヒントにと意識している。</p>
--

<p>授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <ol style="list-style-type: none"> アートアクセサリー鑑賞レクチャー 参考作品の素材説明とアイディア提案 樹脂の扱い方 アメリカンフラワーの扱い方説明 アートアクセサリー制作実習 アクリル絵の具、助剤について 塗料を使って金属の腐食した感じを出す方法の説明・中川作品鑑賞 アートアクセサリー制作実習 アンティークボタン ブレードの鑑賞を通して19世紀モードについて アートアクセサリー製作実習 アールヌーボ・デコのジャンクアクセサリー鑑賞を通して 20世紀モードについて アートアクセサリー製作実習 仕上げ シルバー粘土について、特性・扱い方の説明 制作実習 シルバー粘土リング制作実習 作品について仕上げ・説明
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>作品提出 70%・授業態度 20%・出席 10%</p>

主要教材図書
参考図書
その他資料

<p>授業の特徴と担当講師の紹介</p> <p>フリーイラストレーター、コスチュームアクセサリー作家として幅広く活動しつつ、文化服装学院にてアートアクセサリー／イラストレーションの講師をつとめる。</p> <p>世界各国のアクセサリー資料の紹介、いろいろなアクセサリー素材、道具類の説明を含め、デザインの幅を広げ、ファッションとコーディネート提案ができるような授業内容</p>
--

<p>記載者書名欄 中川 清美</p>

文化服装学院教務部

記載者氏名 中村 浩

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FB3 FD3	科名服飾専攻科 デザイン専攻・オートクチュール専攻	単 位	1 単位
科目コード	攻	授業期間	前期
科目名 アパレル染色演習Ⅰ（自由選択）			

担当教員（代表）：眞田玲子

共同担当者：

概要アパレルデザインを行う上 重要である素材の染色加工に関する専門知識を養う。

理論・技法・工程など実技を通し習得する。 時代に沿った 各種表現方法を分析し構成する。

コマ	内 容
1	ガイダンス 授業内容 課題説明
2	講義課題Ⅰ 原毛染色 染色の基礎知識 酸性染料の浸染方法について理解させる
3	ウールの原毛フェルトによる 立体小物制作
4	〃
5	課題Ⅱ 絞り染め 講義絞りによる防染の仕組みと可能な表現について解説する
6	〃
7	実習縫い絞り、糸でくる絞り技法を使いエコバックを染色する
8	〃
9	講義 課題Ⅱ 型紙捺染 孔版プリントの仕組みを説明しデザイン化の意味を説明する 実習各自オリジナルロゴマーク、マスコット イラストなど図案をデザインする
10	〃
11	型紙作り 捺染 刷り込み実習
12	〃
13	まとめ
14	制作物考察とプレゼンテーション

評価方法…

① 試験0% ②課題提出70%③授業姿勢10%④出欠席20%⑤その他0%による総合評価

主要教材図書 アパレル染色論（文化服装学院教科書）

参考図書 なし

その他資料 各種技法の作業工程 レシピ配布

授業の特徴と担当教員紹介

眞田玲子 企業におけるテキスタイルデザイナーの経験をもとに繊維素材の実用性、アパレルデザインにおける必要な図案や素材との調和など染色加工の企画制作を指導。

記載者氏名 眞田玲子

科コード FD3	科 名 服飾専攻科オートクチュール専攻（自由選択）	単 位	1
科目コード	科目名 アパレルCAD	授業期間	前期

担当教員（代表）：上野 和博	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

アパレル産業における設計プロセスを認識し、アパレルCADを利用した実務の考え方・方法を深めることを目標とする。入力作業に始まり、パターン展開、プランニング、マーキングと流れを確認する。基礎的部分の履修ではあるが、最小限の機能を活用し、最大の効果が得られるレベル設定とする。

<授業概要>

- I. ガイダンス（1コマ）
 - ① フローチャート説明（デモ）
- II. CAD基本操作（4コマ）
 - ① 原型（直線作成、曲線作成）
 - ② 原型操作
- III. 工業用パターン作成（3コマ）
 - ① 前身頃⇒前見返し作成
 - ② 裏衿⇒表衿作成
 - ③ パーツ化⇒縫い代つけ
 - ④ パーツ情報
- IV. マーキング（1コマ）
- V. パターン入力（2コマ）
 - ① パターントレース
 - ② パターン修正
- VI. グレーディング（2コマ）
 - ① PMでのグレーディング
 - ② GRでのグレーディング
- VII. CADデータ利用（1コマ）
 - ① 2DCAD⇒3DCAD
- VIII. 実技試験対策（2コマ）

「使用ソフト」 東レ ACS 株式会社 クレアコンボⅡ使用

評価方法・対象・比重

実技試験（80%）＋ 平常点（出欠席＋ ファイル）（20%）

主要教材図書

参考図書

その他資料：配布プリント（私製）

記載者書名欄 上野 和博

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FB3、FD3	科 名 服飾専攻科 デザイン専攻、オートクチュール専攻	単 位	1 単位
科目コード	科目名 帽子Ⅱ	授業期間	前期 (B 週)

担当教員(代表)：窪田 恵美子	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定）

- ・帽子の一般知識を習得する。夏物帽体・冬物帽体の2作品を製作する。
- ・専門素材・専門用具を用いての製作実習を通して、素材に適したデザイン・技法、帽子の基礎知識を学ぶ。
- ・スタイリングの際の帽子の効果、被り方を学ぶ。

I 講義 帽子の基礎知識 [2コマ]

- ・帽子の形の用語、種類、素材、木型、用具など専門知識の説明
- ・スタイリングの際の帽子の効果、被り方等の説明

II 実物製作 2作品

(1)夏物帽体作品の製作 講義・演習 [6コマ]

- ・夏物帽体による実物製作
- ・木型など専門用具の使用法、型入れによる帽体の形づくりを指導
- ・トリミング（装飾）及び仕上げについて指導

(2)冬物帽体（フェルト帽体）の製作 講義・演習 [6コマ]

- ・帽子用のフェルト帽体（ファーフェルト）による実物製作
- ・木型など専門用具の使用法、型入れによる形づくりを指導
- ・スチームボイラーを用いて、蒸気によるデザイン別成形方法を指導
- ・トリミング（装飾）及び仕上げについて指導

各帽子の取り扱い、手入れ方法、保管方法等の説明

帽子のスタイリング考察課題

評価方法・対象・比重

S～C・F評価、 評価基準：作品・提出物80%、授業姿勢20%

主要教材図書

文化ファッション体系 ファッション工芸講座1 帽子 基礎編

参考図書 The HAT magazine 等

その他資料 コスチューム資料室標本

記載者氏名 窪田 恵美子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FB3	科 名	服飾専攻科	単 位	1 単位
科目コード	400600	科目名	西洋服装史特論（自由選択）	授業期間	半期（後期）

担当教員（代表）：朝日 真	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

西洋服装史を修得済の学生を対象として、ファッションへの理解を一層深めていく。2000 年代以降のファッション史の理解から男性服を中心とした機能服の変遷。そして時代の音楽やアートとファッションの関係性の理解を深める。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	1995年以降のファッションの動向	16	
2	2000年代のファッション	17	
3	機能服①ミリタリーウエア	18	
4	ミリタリーウエアの歴史②	19	
5	ミリタリーコートの歴史	20	
6	フライトジャケットの歴史	21	
7	シャツ、アンダーウエアの歴史	22	
8	テーラードスーツの歴史	23	
9	ワークウエアの歴史	24	
10	アウトドアウエアの歴史	25	
11	音楽とファッションの関係①	26	
12	音楽とファッションの関係②	27	
13	アートとファッション①	28	
14	アートとファッション②	29	
15		30	

評価方法・対象・比重

レポート提出（30%）、学年末定期試験（30%）、出欠と授業態度（40%）

主要教材図書

授業ごとにプリント配布

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

学生がデザイン発想するために役立つ授業展開を心がけている。

記載者氏名 朝日 真

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FD3	科 名	服飾専攻科 オートクチュール専攻	単 位	1 単位
科目コード		科目名	コラボレーションC	授業期間	通年

担当教員(代表) : 大津 公幸	共同担当者
------------------	-------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

コラボレーションを通して、企業との連携を深め、社会貢献することを学ぶ。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

年度の実施内容による

【評価方法】

履修認定・・・P評価

評価基準 : 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

年度の実施内容による

記載者氏名 大津 公幸

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FD3	科 名	服飾専攻科 オートクチュール専攻	単 位	2単位
科目コード	980030	科目名	特別講義 III	授業期間	通年

担当教員(代表)：大津 公幸	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションに関する情報を、業界のトレンド分析も含めた講義を受けることにより各自制作作品への参考にさせる。
また、企業の一線で活躍されている専門性の高いベテラン講師を招き、技術示範や現場情報を講義してもらう。
知識として発展、応用させる為に本物の高級素材作品制作を見ることが不可欠である。その事が美的感性、創造性を高めるなど、就職面、ビジネス面への展開を含め、専門的分野の知識を深める事につなげる。

【授業計画】

1	オートクチュールの世界/オートクチュールのデザインとテクニック	(鈴木 紀男氏)	5コマ
2	キャリア開発/就職対策講座	(森 薫子氏)	1コマ
3	スティリスト・モデリストの仕事/パリの現場から	(日爪 ノブキ氏)	1コマ
4	皮革の知識/皮革の名称と特徴、縫製テクニック	(藤田 晃成氏)	2コマ
5	アパレルに於けるパターンメーカーの役割/立体実技・製図・アイロン処理	(伊藤 智之氏)	2コマ
6	皮革製品のこだわり/デザインと縫製テクニック	(飯島 一樹氏)	1コマ
7	体型の形態及びパンツの解説/紙はり実習による体型観察と解説	(本橋 奈枝子氏)	2コマ
8	ニットの知識/カット・ソー制作	(田才 由美子氏)	4コマ
9	トレンド情報/2024AW, 2025SS コレクション情報	(青木 規子氏)	2コマ
10	毛皮のテクニック/毛皮の知識及び技術解説	(梨本 チエ子氏)	2コマ
11	フォーマルウェア/フォーマルウェアの知識とマナー	(横山 崇生氏)	1コマ
12	花飾り、造花/花飾り、コサージュ制作	(川村 智子氏)	4コマ
13	リュネビル刺繍の実演、解説/起業に対する心構え	(柴田 士郎氏 小川 明子氏)	2コマ

【評価方法】

履修認定 (P表示) 評価基準：出欠状況、提出感想文、実習作品を基に履修認定を決定する

主要教材図書	：なし
参考図書	：なし
その他資料	：関係プリント

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：オートクチュールに関連する情報や技術

担当教員：企業デザイナー、オートクチュールデザイナー、パタンナー、コサージュや刺繍、皮革製品などの職人、海外で活動するデザイナー等

記載者氏名 大津 公幸

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FD3	科 名	服飾専攻科 オートケール専攻	単 位	1単位
科目コード		科目名	インターンシップb(自由選択)	授業期間	通 年

担当教員(代表)：大津 公幸

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

将来のキャリアを視野に入れ、業界・業態・職業自体の理解を深めることを目指す

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

同一の実習先で実働 35 時間実習することを原則として、条件を満たした場合に単位を付与する

- ① 実習先は学生が自己開拓した企業とする
- ② 希望者は所定の手続きに従い、実施日の 14 日前までに担任に申請書を提出する
- ③ 授業時間中の実習は認めない
- ④ 賃金が支払われる場合は対象外とする(交通費実費あるいは少額の食事補助は除く)
- ⑤ 実習修了後、実習学生は 14 日以内にインターンシップレポートを提出する

※本人→実習先→本人→就職支援室→担任

【評価方法】

研修日時・内容・研修先のサインが記入されたインターンレポートを提出する(P評価)

主要教材図書

なし

参考図書

なし

その他資料

なし

授業の特徴と担当教員紹介

インターンシップを経験する事で仕事の流れや実務を理解し就職活動に対する意識向上と自主性を育む

記載者氏名 大津 公幸

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FD3	科 名	服飾専攻科 オートクチュール専攻	単 位	5単位
科目コード	971000	科目名	専攻科卒業研究・創作	授業期間	後期

担当教員(代表) : 大津 公幸	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

服飾課程で学んだ服作りの理論、知識、技術の集大成として、創造性、美的に富んだ作品を制作する事を目的にする。
また、トータルコーディネートし、企画・演出を学生の担当でまとめ、卒業制作ショーで発表する。

【授業計画】

1 卒業制作 (70コマ)

- ・各自自由な発想のデザインを基に、平面作図、ドレーピングにより型出しを行い、実物を制作する。
- ・各デザイン、各素材による縫製法、縫製技術、素材の扱い方を学習、習得する。
- ・トータルコーディネートし、卒業制作ショーで発表する。

【評価方法】

S~C・F評価 評価基準 学業評価 : 90% 授業姿勢 : 10%

主要教材図書	: 文化ファッション大系全般
参考図書	: コレクションブック COLLEZIONI HAUTE COUTURE SPOSA (出版社 logos) WWD ジャパン (出版社 株式会社INFAS パブリケーションズ) Show details PARIS (出版社 Show details SRL)
その他資料	: なし

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴 : 美を追求したオートクチュール作品

担任教員 : 専任教授 大津 公幸 オートクチュールのアトリエにて縫製、パターン、カッターとして勤務後、教員として学院に入職

記載者氏名 大津 公幸